

留学中の思い出は一生の宝物

中部学院大学短期大学部

ミヤツ ポウイン ピュー

2023 年度文部科学省学習奨励費受給者

私は 2022 年に中部学院大学短期大学部に入学した留学生です。2 年間、社会福祉学科で介護の勉強をしました。子供のころから外国に留学することが夢でした。日本語を勉強し始めたことをきっかけとして日本に留学することを決めました。「留学したい」ことが夢でしたが、どんなことを勉強したいのかははっきり分からない私にとって、社会福祉学科で学んだ様々な科目が面白かったし、介護福祉士になることを目指して勉強していく中で、自分が自分に合う道を選んだことに気が付きました。大学は、講義だけではなく、実習もあって、自分が学んだことを実践できるようになりました。新しい環境で、新しい人との関わり方を学ぶのが良い勉強になって、本当に宝物みたいです。

日本に来たときは、自分が考えていたよりも、大変なことがたくさんありました。自分一人で解決しなければならないこともたくさんあって、悩んだ日々は多かったです。その時、実習先の利用者さん達の笑顔、話しかけた瞬間、自分のことを認めてくれた人たちのおかげで、前を向いてもっと頑張れるようになりました。日本に留学してとても良かったことは、自分の興味がある色々なことを以前よりも挑戦できるような環境であったことです。自分の力をもっと活用できるようになりました。

学生生活は勉強だけではなく、イベント活動などにも参加するようにしました。大学のシティカレッジでピアノの個人レッスンを受けたり、ハンドベルサークルなどにも参加して、新しい友達もできました。自分がチャレンジした経験により、自分の気持ちや考え方、日本語能力などが前とは違うことに気づき、もっと成長したことを感じました。

自分が成長するためには自分が頑張ることだけでは足りないです。自分が成長し上達するように支えてくれる環境も必要です。自分のために日本に留学したことはかけがえない思い出がいっぱいです。これからの人生にどんな大変なことがあっても、学生時代の出来事を忘れず、その時、頑張った自分のことを思い出し続けていきたいです。